

科目名	情報システム	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	小林 満男	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-1-220001	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	情報システムを理解するうえで必要な基本的考え方と基本技術、応用分野について解説し、情報システムについて深く学ぶための導入とする。情報システムとは、情報を収集し、加工、分析、蓄積し、活用する仕組みのことである。われわれの生活に身近な事例を取り上げて、情報システムの開発者、利用者、サービス提供者それぞれの立場から、情報システムについて考える。特に、社会や企業などの人間活動とのかかわりを重視し、情報システムが必ずしもコンピュータ中心のシステムではないことを認識し、情報システムを考えるときには広い視野に立ったものの見方が必要であることを学ぶ。				
学修到達目標	<p>①情報システムを、人間活動を含む社会的システムであると捉える情報システム学の体系を理解するとともに、情報化社会の中でどのように情報システムと関わっていくべきかを考えることができるようになる。（定期試験20%、レポート10%）</p> <p>②情報システムのさまざまな事例を理解し、説明できるようになる。（定期試験40%、レポート10%）</p> <p>③情報システム学科カリキュラムの授業科目間の関連と意味付けを理解し専門科目の履修選択に役立てることができるようになる。（定期試験10%）</p> <p>④情報システムの開発、評価、人材育成の概要について理解する（定期試験10%）</p>				
実務経験との関連性	情報通信システムの開発、運用及び営業に従事した経験を活かした授業を行う。				

授業計画	
第1回	〔情報システムとは〕 情報、情報処理、情報システム、情報化社会について学びます。
第2回	〔情報システムとコンピュータ〕 利用目的、利用形態、システムの信頼性について学びます。
第3回	〔社会基盤としての情報システム〕 社会基盤、安全への対策と整備、危機管理について学びます。

第4回	[生活基盤としての情報システム] 生活の中の情報システム、ユビキタス、〔事例〕について学びます。
第5回	[行政と情報システム] IT基本法、電子行政システム、電子認証システムについて学びます。
第6回	[ビジネス戦略と情報システム] 小売業の情報システム、製品への組込みシステムについて学びます。
第7回	[ネットビジネスと情報システム] ネットビジネスの現状、ビジネスモデルについて学びます。(期中レポート①提出)
第8回	[顧客情報と情報システム] 顧客情報管理システム、CTI、トレーサビリティについて学びます。
第9回	[電子商取引と情報システム] 電子商取引の形態と発展、特徴と問題点について学びます。
第10回	[組織と情報システム] 統合業務システム、ナレッジマネジメントについて学びます。
第11回	[情報の共有と検索の仕組み] 情報の共有、情報検索の仕組みについて学びます。
第12回	[情報システムの新たな展開] 生活環境と情報システム、文化財と著作権、新たな展開について学びます。
第13回	[情報システムと倫理] 知的財産、不法行為、利用者の倫理について学びます。(期中レポート②提出)

第14回	【情報システムの開発】システム企画、分析、設計、製造、テスト、運用について学びます。
第15回	【システムエンジニアの役割と育成カリキュラム】システムエンジニアの役割と育成について、国の政策や本学科のカリキュラム等を通して学びます。
第16回	【期末試験】80分（教科書等の一切の持ち込みは不可）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：テキスト（の該当する章）と事前に配布した講義資料で予習する。
【復習】時間・内容	2時間：テキスト（の該当する章）と事前に配布した講義資料で授業を振り返る。

成績評価	
評価基準・方法	<p>※上記15回の授業のうち、1回分を課題（レポート）に代替します。詳細は授業中に指示します。</p> <p>①定期試験の（問題1）基本的な事項についての理解（40%）、レポート1（国のIT戦略等）（10%）          ②定期試験の（問題2）情報システムの事例＜政府・自治体システム等＞（10%）、（問題3）情報システムの事例＜流通販売システム等＞（10%）、レポート2（情報システムを取り巻くトレンド、または情報システムの事例）（10%）          ③定期試験の（問題4）情報システムの評価指標についての理解を問う。（10%）          ④定期試験の（問題5）情報システム開発の開発モデル・工程・作業内容等の理解を問う（10%）</p>
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業外レポートについては、採点した全員のレポートを回覧するとともに、学生の記述例を取り上げて解説する</li> <li>理解度確認のために授業内で行う小テスト（非評価）についても、学生の解答例を見せながら解説する</li> <li>期末試験結果の全般的な講評はポータルで行う</li> </ul>

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書：神沼靖子編著 「情報システム基礎」 オーム社 2625円（購入必須）</li> <li>・参考書：浦昭二（他）編 「情報システム学へのいざない〔改訂版〕」 培風館 2730円（購入不要）</li> </ul>
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は必ず入手し、毎回、予習をすること。</li> <li>・当日の説明資料と配布資料は必ず復習しておくこと。</li> <li>・特別講義（講師：IT企業の社長）を予定しています。その際、感想文等は必ず提出すること。</li> </ul>
JABEE	